

事業報告書

【1】概況

第2次地域福祉活動計画も2年目に入り、行政と共に牧之原市の福祉の充実を図るよう、第1次地域福祉活動計画の理念を引き継ぎ「ふれあいを大切にしたい生涯安心して暮らすことのできるまちづくり」の実現に向け事業を展開している。

生活困窮者の対応については、長引く景気低迷や急激な超高齢社会への対応等、社協の取り組む事業は年々重要性が増している。平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に伴い、本年度市から事業を受託し民生委員児童委員や市の関連部署と連携を図り、市民に密着した相談を行ってきたが、生活困窮者の増加は本市においても例外ではなく、生活福祉資金の貸し付けや行政の生活保護担当と連携するケースが増えている。

ボランティア活動においては、平成23年3月に発生した東日本大震災後、今後起こり得る災害に備え災害ボランティアコーディネーターが中心となり、市防災課、危機管理課、社会福祉課等関係機関の方たちと社協が一緒になって、災害ボランティアセンターの立ち上げについて検討会を実施してきた。また、職員も立ち上げ訓練を実施し平時から常に準備している。

地域包括ケアシステムの構築については、社協が本来実施すべき事業でもある「地域づくり」が重要視される制度となったことから、市高齢者福祉課や健康推進課と連携を図り事業を推進している。市が進める福祉施策や方針を共通認識し、地域の支え合いによる活動を推進するため、区や町内会に密着したニーズ調査や市民主体の取り組みを今後も進めて行く。

在宅福祉事業においては、デイサービスセンターあたりの指定管理期間が平成28年度末で終了となり、事業の継続に向け法人一丸となって検討した結果、新たな施設を建築し、地域に密着した事業展開を行う方針が決定された。しかし、デイサービス事業の運営は厳しく、安定した経営ができるよう経営改善を行っていく必要が生じている。

本会が、市民から信頼され必要とされる団体として存続していくために、役員及び全職員が目的の達成に向けて引き続き地域との連携を強化していきたい。

【2】主要事業

基本目標Ⅰ 安心して暮らすことのできるまちづくり

施策1 相談窓口の充実

悩みごとや心配ごとを持つ方が気軽に相談できる窓口を下記のように設置し、総合相談及び援助活動を行います。

種類	開設日	場所	相談活動の内容
福祉総合相談	月～金曜日 (8:15～17:00)	相良総合センターい～ら	社会福祉協議会の職員が、様々な福祉の相談(ボランティア・介護・サロン活動・生活困窮など)に電話や訪問など、様々なケースに対応します。
	月～金曜日 (8:15～17:00)	老人福祉センター	
心配ごと相談	毎月第2水曜日 (9:00～11:30)	市民相談センター	市民からの多様な相談に対応するため、民生委員児童委員と司法書士が相談にあたります。 ●主な内容 財産、離婚
	毎月第4水曜日 (9:00～11:30)		
法律相談	毎月第1水曜日 (10:00～15:00)	市民相談センター	市民や他市町から多様な相談に対応しています。弁護士、人権擁護委員、行政相談員が相談にあたります。 ●主な内容 財産、離婚、人権・法律
	毎月第3水曜日 (10:00～15:00)		
結婚相談	—	相良総合センターい～ら	年1回以上、出会いの場の提供を行います。

(1)相談窓口の利便性の充実を図り、地域ニーズの把握に努めます。

【福祉総合相談】

相談件数 1,101件(※相談内容は重複有)

受付方法	電話	来所	訪問	会議			計
	459	307	285	50			
相談者	一般	二次予防	要支援者	要介護者	障害者	その他	
高齢者	173	76	12	68	21	0	350
60～64歳	97		0	4	16	0	117
59歳未満	495		5	2	134	0	636
相談内容	介護問題	医療疾患	施設病院	心理的問題	経済的問題	生活問題	
	31	48	8	156	810	966	2,019

【心配ごと・法律相談】

開設日数 及び延数	相談事項と件数																			
	生計	年金	職業・ 生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・ 衛生	医療	精神衛生	人権・ 法律	財産	事故	児童福祉・ 母子保健	教育・ 青少年	障がい児者福祉	母子・ 父子福祉	老人福祉	苦情	その他
開設日数 心配 27日 法律 24日 延べ件数 心配 57件 法律169件 計 226件																				
心配ごと相談件数	2	0	2	4	5	1	3	0	0	0	4	31	1	0	0	0	0	1	2	1
法律相談件数	4	0	7	2	4	3	31	0	2	0	26	67	10	0	0	0	0	0	5	0
合計	6	0	9	6	9	4	34	0	2	0	30	98	11	0	0	0	0	1	7	1

【結婚相談】

実施日	会場	相談活動の内容
7月10日(金) 18時30分～21時	静波スウィング ビーチ	20歳代から30歳代の市内独身男女を対象として実施した。 当日は男性11名女性12名の参加があった。会場のビーチサイドで各グループでバーベキューを楽しみ、参加者同士のつながりがあるため和やかな雰囲気で行った。1組のカップルが成立した。

(2)無料相談の周知を進め、相談体制を整備します。

①ふくしだよりに掲載

毎月1回全戸配布するふくしだよりのお知らせに、翌月の相談日や会場などを掲載し市民に周知している。

②ホームページの活用

「困りごとを相談したい方に」に各種相談内容や会場、日程等を掲載している。また、Eメールでも対応している。

【アドレス】<http://www.makinohara-shakyo.jp>

(3)相談員や職員のスキルアップに努めます。

①相談員について

相談員として出席している民生委員児童委員の定例会にて、みなさんが相談員として参加している意味や役割を伝えている。

②外部研修への参加

職員の相談スキル向上のため、県社協が主催する各種制度の研修会や講習会に参加している。また、日頃から職員間で情報を共有している。

☆評価

結婚相談について市内の男女を対象に実施をした。平日の開催だったため、参加者の集合が遅くなったが、バーベキューということもあり、男性陣が焼いたり取り分けたりと積極的に声をかけたりする姿が見られ終始にぎやかに開催できた。結果1組のカップルが成立した。

平成26年4月に相談支援係が設置され相談対応を実施してきた。昨年度1年間で811件だった相談件数も、平成27年度は1,101件と増加しており、相談機関として市民に認知されてきたことがうかがえる。また、経済的問題を抱える世帯については、平成27年度から施行された生活困窮者自立支援事業へつなぎ、自立に向けた支援をすることができた。

☆課題

心配ごと相談、法律相談から社協として関わるべき課題を見極め、関係機関や地域の関係者と連携を取りながら対応していきたい。

結婚相談については、出会いの場の提供のため、その後つきあったのかなどが不明である。商工会や農協でも同じような企画を行っている中、社協として行うことについて検討する必要性を感じる。

また、現在は相談というより出会いの場の提供となっているため、「結婚相談」という名称も検討していきたい。

生活困窮者自立支援相談では、相談対応だけでなく、多問題世帯及び制度の狭間にいる方への支援や、成年後見制度をはじめとする権利擁護に関する相談が多く、今後法人として相談を受けることができる人材育成や、体制づくりを進めていく必要性を感じている。

施策2 災害時要援護者(避難行動要支援者)対策の充実

(1)行政や県社会福祉協議会、県ボランティア協会など関係機関との災害時ネットワークの充実を図ります。

①志太榛原災害VC連絡会への参加

志太榛原地区4市2町の社協災害担当者及び災害ボランティアコーディネーターによる連絡会を中部危機管理局職員をオブザーバーとして招き実施した。当連絡会は各市町間の支援体制を築くことを目的に実施し、各市町VCの活動状況やボランティアセンターの運営方法等の情報共有をすることができた。

【7月11日】焼津市総合福祉センター 2名

【3月5日】川根本町山村開発センター 5名

②中部地域災害ボランティア連絡会への参加

災害発生時に災害ボランティアに関する機関・団体が連携し、必要に応じて応援・受援等の連携した対応活動が実施できる体制を確保することを目的に開催された。

【11月27日】県藤枝総合庁舎別館2階 3名

③静岡県内外のボランティアによる救援活動のための図上訓練への参加

静岡県内外の災害ボランティア活動に関わる人たちを対象に、被災者支援における様々な課題について考えるとともに、市域、県域を超えたネットワークによる支援体制をつくることを目的に開催された。

【12月12・13日】静岡市民文化会館 6名

④災害時ボランティアコーディネーター及び市防災課、危機管理課、社会福祉課、社協が市の防災対策等についての連絡会を実施した。

【6月3日】・災害時トイレ計画について ・市内避難地および避難場所について

・関係機関等からの当会、社協への協力事項 18名

【11月25日】・災害時トイレ計画について ・災害ボランティアセンター運営資機材について

・県図上訓練及び災害VCO養成講座への協力について 15名

【2月9日】・災害時簡易・携帯トイレの備蓄 ・防災倉庫の設置

・緊急支援物資配布に関わるボランティアニーズ 14名

(2) 災害対策マニュアルの定期的な見直しを行い、災害時の備えます。

①災害対策マニュアル

マニュアルは年度ごと更新し、常に最新の状態としている。また、災害時ボランティアコーディネーターの定例会で話ができた内容なども反映させている。

(3) 障がい者(児)や妊産婦等要援護者への防災対策を検討します。

①防災対策マニュアルの検討

視覚に障がいのある職員を中心に、視覚障がい者向け災害マニュアルの作成を行っている。

(4) 災害ボランティアコーディネーターの支援、連携及び育成を図ります。

①災害ボランティアコーディネーターの育成・充実・連携

災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者と災害ボランティアに関心がある市内在住者15名が会員となり、相良総合センターい〜らを会場に毎月第1水曜日に定例会、第4水曜日に役員会を開催した。定例会等では、災害時のマニュアルの検討や本部運営に関する協議などを行った。

【定例会】

4月15日 牧之原市災害ボランティアセンター総会 8人

5月12日 HUG訓練実施 4人

8月5日 神戸大学生の受け入れについて、ふれあい広場出店内容について
防災講座について 6人

9月9日 神戸大学生との意見交換会 14人

10月7日 ふれあい広場参加・結果について、県図上訓練の参加について 4名

11月4日 ふれあい広場アンケート結果、災害VCO立ち上げ訓練(菅山)
県図上訓練への参加について、災害VCO養成講座の開催について 9名

12月2日 災害VCO養成講座の開催について、県図上訓練の課題について
中部地域災害ボランティア連絡会の報告 7名

1月7日 災害VCO養成講座の分担、行政機関等の災害ボラ連絡会日程、協議事項
県図上訓練での牧之原市の今後の取り組み課題等 7名

3月9日 平成28年度事業・予算計画、総会について、役員改選について 8名

②災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害体制の強化及び災害VCOを養成することを目的に実施をした。2日間参加した方には、「ふじのくに災害ボランティアコーディネーター認定証」を交付し、4名が対象となった。

【1月23・30日】相良総合センター 11名

③災害ボランティア交流

神戸大学から災害ボランティアサークル「震災救援隊」が牧之原市災害ボランティアコーディネーターとの交流を目的に牧之原市へ訪問に来た。初日は親睦を兼ねた交流会を行った。2日目はグループワーク形式で、災害について話し合いを行った。

【9月8日・9日】神戸大学生・静岡県学生支援V団体「うちっち」・牧之原市災害VCO 他 14人

④災害ボランティアコーディネーターフォローアップ講座

大規模自然災害発生時、隣接する市町がお互いに支援し支援を受ける状況になった時に必要な「災害ボランティア本部の運営方法」について、共通の認識を持ち協働できることを目的に開催された。

【2月20・21日】静岡県地震防災センター 4名

⑤さざんかふれあい広場への参加

災害時のトイレ・非常持ち出し品の展示及び災害に関するアンケート調査を実施した。

【10月4日】総合健康福祉センターさざんか 4名

(5)区と連携して地域避難訓練(平日の昼間)を実施します。

①平日昼間の避難訓練

昼間自宅にいる高齢者の方に、区の避難場所まで一緒に歩きどれくらい時間がかかるのかなどを訓練体験を落居区にて依頼をかけたが、地区高齢者の意見もあり見送りとなった。

☆評価

牧之原市災害ボランティアコーディネーターの会議に毎月参加し、意見交換することで連携が図れている。新たに行政関係課や榛南JCとの連絡会を実施することにより災害ボランティアセンター運営に関する役割分担や情報共有をすることが出来た。

☆課題

牧之原市災害ボランティアコーディネーターへの新規の参加者が少ないことや、会議への参加者が限られてきており、連絡会の在り方について検討する必要がある。今後も、災害ボランティアコーディネーター養成講座を実施し、会員の確保を目指していく。

施策3 福祉の担い手の確保・活動の充実

(1)各種ボランティア講座やサロン協力員講習会の開催を継続し、リーダーの育成を進めます。

①サロン協力員の育成・充実

サロン協力者、民生委員児童委員、またはボランティアに興味がある方を対象に、講習会を開催し新しい取り組みの補助や、情報提供、情報交換を行った。

【7月15日】相良総合センターい〜ら 参加者23人

殿方もレッツ エンジョイ!

【9月14日】相良総合センターい〜ら 参加者29人

かざりお手玉づくり

【11月9日】相良総合センターい〜ら 参加者27人

折り紙でクリスマス

【1月20日】相良総合センターい〜ら 参加者26人

レクリエーションでリフレッシュ

②ふくし体験講座の実施

夏休みを利用して、障がいがある方の暮らしを体験することで、福祉への理解や自分たちにもできる活動を考えるきっかけ作りを目的としたふくし体験講座を開催した。

【8月6日】相良総合センターいへら 参加者10人

(2)サマーショートボランティアの開催を支援し、若い世代のボランティアの関心を高めます。

①サマーショートボランティアの充実

今年で34回目となったこの事業。県ボランティア協会が主催となって、市内の26福祉施設で、中・高校生等が連続4日以上ボランティア活動を行った。

【活動期間】8月1日～8月30日

(3)活動支援者として、元気な高齢者の活用を図ります。

①ボランティア活動への参加

相良・榛原両地区のひとりぐらし高齢者を対象にふれあい食事会を開催したが、その際、両地区ごとのシニアクラブ会員に舞踊や歌の披露をお願いした。また、ハーモニカ演奏のボランティアグループ「うぐいす」にも参加していただき、地域での活動の場を提供した。

【9月16日】相良総合センターいへら 16人

【9月25日】総合健康福祉センターさざんか 32人

☆評価

小中学生に福祉を知ってもらう機会を、夏休みに開催できたことはとてもよかった。特に小学生のふくし体験講座では街に出て買い物や公共交通機関に乗ることで、視覚障がい者の体験をできたことは、他者の気持ちを分かってもらえる良い機会となった。

また、サマーショートボランティアでは主催から外れ、県ボランティア協会が主体となって実施したが、問題もなくスムーズに行うことができた。

☆課題

介護保険改正に向け、要支援の方が地域で安心して暮らすことができるためには、今以上の福祉の担い手づくりが必要となる。地域に必要なニーズ調査と社協だけでなく、市との協働が必要だと感じた。

施策4 各種福祉サービスの利用支援

(1)利用者の状況に応じて既存事業の見直し。

介護保険事業所(P31～45)

機能訓練事業(P54)

(2)積極的に広報を行い、事業や制度の周知を図った。

①社協広報紙「ふくしだより」の発行(12回)

福祉意識の啓発と社協の活動を市民に理解してもらうため、A4版4面の「ふくしだより」を毎月15日(土日祝日は前となる)に、自治会を通じて発行した。

【年間発行部数】月14,100部(年計169,200部)

②ホームページの充実

社協事業の報告やイベント情報をホームページに記載し、一般市民へ提供した。また、ホームページについては、多くの人に見てもらえるような内容としたいためバックの色を変更したり、お知らせを随時掲載するようになった。

【アドレス】<http://www.makinohara-shakyo.jp>

③ボランティア情報紙の発行

市民ボランティアに対する意識向上、今後の総合事業における生活支援サービスボランティアを知ってもらうきっかけづくりとして、新聞折込によるボランティア情報誌を発行した。

④サロン通信の発行

高齢者等が、地域の居場所として活動している「ふれあい・いきいきサロン活動」を市民の方にも知ってもらう機会として、ふれあい・いきいきサロン通信を全戸に配布した。

⑤サロン啓発パンフレット

牧之原市内でサロンを始めたい方や内容を知りたい方へ、「あなたも、はじめませんか？ ふれあい・いきいきサロン」を作成し、い〜ら窓口に置き啓発した。

(3) 関係機関との連携を強化し、サービスの質の向上に取り組みました。

地域包括支援センター及び生活支援センターつばさ(P46～50)

(4) 介護者家族のリフレッシュを目的とした、介護者の集いを継続して実施。

地域包括支援センター(P46～47)

(5) 介護予防及び生きがいづくりを目的とした、介護予防通所事業を継続して実施。

生きがいデイあしたか(P51～53)

☆評価

ホームページも3か月に1回を目安に、バックの色を変更して、飽きないような工夫をしている。

広報紙については、毎月カラーで発行している。なるべく文字数を減らして見やすいことを心がけている。また地域で活躍する団体や個人が行っている地域福祉活動をふくしだよりで取り上げることで、活動への意欲をさらに高めることができた。

☆課題

報告紙ではなく、情報紙になるようにアウトリーチし情報を集めるようにしたい。また、ホームページについては写真の更新など、見た目を変えるなどして何度見ても飽きないようにしたい。

施策5 情報提供の充実

(1) ふくしだよりの内容の充実を図った。

再掲(I-4-(2)-①)(P6)

(2) ホームページを活用し、新しい情報を発信。

再掲(I-4-(2)-②)(P7)

(3) ボランティア情報紙、サロン通信を発行。

再掲(I - 4 - (2) - ③④) (P7)

施策6 生活環境の整備の充実

(1) 日常介護用具総合貸与事業、施設入浴サービス事業、移動支援事業、福祉車両貸出事業を継続、実施。

① 日常介護用具総合貸与事業

介護保険が適用されない方で、日常生活上介護ベッドやエアマットが必要な方に3ヶ月以内で貸出を行う事業です。

貸与実績 0件

② 施設入浴サービス事業

再掲(I - 4 - (1) - 相良ホームヘルプサービス・榛原ホームヘルプサービス) (P37・P40)

③ 移動支援事業

再掲(I - 4 - (1) - 相良ホームヘルプサービス・榛原ホームヘルプサービス) (P37・P40)

④ 福祉車両貸出事業

[相良事務所]

マイクロバス(29人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
回数	14	16	17	10	8	9	
延べ人数	262	335	342	182	165	150	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	21	17	10	10	7	12	151
延べ人数	377	359	193	164	143	204	2,876

ワゴンR(福祉車両:スロープ車・3人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	6	7	8	9	8	8	
延べ人数	6	8	10	13	11	10	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	9	10	8	6	5	4	88
延べ人数	15	12	11	6	7	5	114

デミオ(福祉車両:スロープ車・3または4人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	9	6	6	8	8	7	
延べ人数	26	21	17	25	18	16	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	11	10	11	9	8	6	99
延べ人数	28	26	29	23	19	10	258

〔榛原事務所〕

ハイエース(10人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	2	2	4	1	1	2	
延べ人数	13	11	29	6	7	15	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	14	15	0	11	8	0	60
延べ人数	19	15	0	11	8	0	134

ハイエース(福祉車両:10人乗り)※上記と同じ車両。福祉車両として使用した数字。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	0	3	4	5	2	5	
延べ人数	0	7	4	9	3	6	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	6	6	3	3	2	0	39
延べ人数	9	7	3	3	2	0	53

ファンカーゴ(福祉車両:5人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	7	11	11	9	9	10	
延べ人数	49	46	63	56	46	37	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	10	12	11	13	12	10	125
延べ人数	37	48	37	50	62	36	567

AZワゴン(福祉車両:スロープ車・3または4人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	7	6	7	10	10	7	
延べ人数	8	10	11	12	17	10	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	10	9	14	6	7	6	99
延べ人数	14	14	22	10	13	10	151

(2) 心身障がい児(者)施設への通所者に通園費補助事業を継続、実施。

①心身障がい児(者)通園費補助事業

牧之原市内に居住し、心身障がい児(者)施設へ通う在宅心身障がい児(者)へ、1ヶ月1,000円の施設通園(所)費補助を行った。

【前期】 127人(693,000円) 【後期】 129人(724,000円)

(3) ふれあい食事会を実施し、ひとり暮らし高齢者にふれあいの場を提供。

①ひとり暮らし高齢者ふれあい食事会

相良地区(1回)

70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、会食方式の食事会を実施し、参加者同士やボランティアとの交流により楽しい時間を過ごした。

【9月16日】相良総合センターい〜ら 22人

内容:シニアクラブ牧之原相良支部女性部〜舞踊・歌の披露〜、うぐいす〜ハーモニカ演奏〜

榛原地区(1回)

70歳以上のひとりぐらし高齢者を対象に、ボランティアグループ“オムレツくらぶ”の協力により、会食方式の食事会を実施し、参加者同士やボランティアとの交流により楽しい時間を過ごした。

【9月25日】総合健康福祉センターさざんか 74人

内容:シニアクラブ牧之原榛原支部女性部～舞踊・歌の披露～、うぐいす～ハーモニカ演奏～

②ひとりぐらし高齢者給食サービス

相良地区(19回)

70歳以上の見守り等の支援が必要と思われる、ひとりぐらし高齢者及び高齢者世帯48人を対象に、200円の利用料で月2回ボランティア連絡会の調理部会が作ったお弁当を、民生委員児童委員が高齢者宅へ配食した。8・9月は、食中毒の恐れがあるため弁当は休止したが、8月27日(木)に民生委員の協力を得て見守り訪問を実施した。

【配付した弁当の延べ食数】869食

【見守り訪問】45名

榛原地区(20回)

70歳以上の見守り等の支援が必要と思われる、ひとりぐらし高齢者及び高齢者世帯33人を対象に、200円の利用料で月2回ボランティアグループ“オムレツくらぶ”が作ったお弁当を配達ボランティアが高齢者宅へ配食した。8・9月は、食中毒の恐れがあるため弁当は休止したが、8月26日(水)に配達ボランティアの協力を得て見守り訪問を実施した。

【配付した弁当の延べ食数】363食

【見守り訪問】19名

☆評価

福祉車輛については年間を通して、多くの利用があったが大きな事故なく事業を行うことができた。また、ふれあい食事会は参加者同士や地域の方々との交流ができた。給食サービスは安否見守りができることと、担当民生委員さんとの連携が取れ情報交換ができる。

また、給食サービスについて、8月9日と食中毒の心配からお休みの間の見守りとして、民生委員や配達ボランティアの協力を得て、お茶菓子を持ちながら訪問を実施した。

☆課題

相良事務所のデミオについて、ミッションであることやハンドブレーキの効き、ガソリンメーターなど不具合が見られた。運転ボランティアの方も、ミッションであることで使用にちゅうちょする声が聞かれているため、新たな福祉車輛の購入を検討していきたい。

給食サービス、ふれあい食事会を希望され参加される方は良いが、出てこられない、給食サービスの存在を知らないなどの方を、どのように巻き込んでいくかが課題である。

施策7 次世代への支援の充実

(1)行政と連携し、子育てに関する相談体制の充実を図っていきます。

行政や主任児童委員と一緒に、相談体制について支援冊子にまとめた。

(2)子育て支援冊子の作成。

行政やお母さん方と一緒に、子育てに関する情報をまとめた冊子を作成した。

(3)地域で子育て支援が行える体制の整備の取り組み。

①児童館まつりに参加

相良児童館、榛原児童館を会場に、子ども達のふれあいや地域との交流を目的に開催された児童館まつりに、社協は模擬店(ポップコーン販売)に参加し、ボランティア情報誌の配布をした。

【8月1日】相良児童館まつり 職員2人 ボランティア3名参加

【8月1日】榛原児童館まつり 職員3人 ボランティア5名参加

②補助金の交付

子ども会連絡協議会の活動費に、共同募金活動で得たお金を補助金として交付した。

【補助金額】200,000円

(4)のびのび子育て井戸端会議を継続、実施。

①のびのび子育て井戸端会議の活動

子育て中の母親達の交流の場として、また、子どもに安心して楽しく遊べる場を提供するなど、子育てを支援するために、主任児童委員やボランティアの協力をいただき開催した。

【参加者】177組の親子(延べ396人/大人177人・子ども219人)、中高生ボランティア8人

☆評価

参加者同士で交流し情報交換し子育てを楽しむ場所となっている。また、今年度からお母さんボランティアが主体となって活動をするよう実施している。そして、民生児童委員が気軽に声をかけることで育児ストレスの軽減が図れている。

☆課題

第1子の親への事業周知及び、サロン化にむけてボランティアの確保が必要。また、親の居場所づくりのあり方や相談機関へのつなげ方について検討が必要だと思う。

基本目標Ⅱ 活動の輪を広げるまちづくり

施策1 地域や学校における福祉教育の推進

(1)福祉教育学校連絡会を開催し、福祉教育の推進と充実を図った。

①福祉教育学校連絡会の開催

【11月19日】14校参加

(2)学校や関係機関と連携し、福祉体験学習の充実を図った。

①福祉体験学習への支援

市内小・中学校等からの依頼で、講話・車椅子・アイマスク体験等を実施し、福祉に対する理解が深まるようサポートした。

【5月21日・6月17日】相良小学校5年生 92人

【5月27日・6月30日・7月8日・7月14日】細江小学校4年生 80人

【6月5日・6月11日・6月17日・6月19日・6月24日】相良中学校3年生 142人

【6月12日】萩間小学校4年生 17人

【7月13日】勝間田小学校6年生 25人

【7月23日】川崎小学校5年生 80人

(3)障がい者(児)への正しい理解を推進。

自立支援ネットワーク等の会議へ出席し、職員が勉強を行い福祉教育ハンドブックに反映させた。

(4)福祉教育ハンドブックの改定の計画。

担当職員間において、ハンドブック検討会を3回開催し、改定に向け、話し合いを重ねた。

(5)福祉体験講座を実施。

①ふくし体験講座の実施

再掲(I-3-(1)-②)(P6)

(6)みんなの描く福祉作品コンクールを実施。

①みんなの描く福祉作品コンクール

福祉の啓蒙を図るため、101人の応募を得て、みんなの描く福祉作品コンクールを開催した。

◇作文の部 応募者 27人

◇図画の部 応募者 74人

☆評価

福祉作品コンクールでは、本年度も多くの参加があった。体験講座では、アイマスクをして歩道を歩いたり路線バスに乗ったりと、視覚障がいの方の体験を通して、生活の不自由さ等、参加した児童から感想が聞かれた。

毎回多くの方が参加してくれた。各教室が楽しいという方の中に、他の参加者との交流も含まれており、このように趣味活動の場の必要性を多く感じた。

ボランティア活動者には情報発信や活動者同士の交流ができ、また、参加者が地域にある施設を知るきっかけづくりにもなった。親子参加の事業では施設だけでなく、障がい者理解やコミュニケーションの取り方なども学ぶことができた。

☆課題

福祉教育について、全小中高校からの依頼があるようにしたい。ふくし体験講座は、アイマスクをしながらバスに乗車降車をしたり、買い物をしたりと視覚障がい者の日常生活を体験してもらった。2年連続で参加している子もいたため、内容を毎年変えていく必要があると感じた。

施策2 ボランティア・地域活動等の参加促進

(1)アンケートや懇談会を開催し、地域のボランティアニーズを把握します。

福祉総合相談や地域に出向いていく中で、地域に必要なニーズの把握を行っている。また、サロンなどにおいて協力員にアンケートを行うことで、ニーズを拾っている。

(2)ホームページや広報紙を活用して、ボランティア情報を発信。

①広報活動

再掲(I-4-(2)-①②③④⑤)(P6~7)

②ボランティア連絡会

個人登録制とグループ登録制の2種類がある。事業としてもふれあい運動会や視察などを実施している。また、福祉施設交流会などの当日ボランティアとしても参加し、交流を図っている。

個人登録 登録実人員 40人

No.	部 会 名	人数	主な活動場所	活 動 内 容
1	作業部会	13	こづつみ作業所	陶器の転写紙貼り、下請け部品組立作業手 伝い・各行事への協力
			第2こづつみ作 業所	下請け部品組立作業手伝い・各行事への協 力
2	介助部会	1	つくしの家・ つくしホーム	パターニングの手伝い・各行事への協力、圏 外療育(主に散歩)の手伝い・各行事への協 力
3	在宅部会	2	自宅	ひとり暮らし高齢者給食サービスに添える折 り紙制作
4	調理部会	19	保健センター	毎月2回のひとり暮らし高齢者給食サービス の調理
5	配食部会	2	市内	ひとり暮らし高齢者及び民生委員宅への給 食サービスの配食
6	社協部会	3	い〜ら・市内	ふれあい食事会への協力・相良デイサービ スセンターへの協力

グループ登録 17グループ 会員数延べ 529人

No.	グループ名	人数	主な活動場所	活 動 内 容
1	オムレツくらぶ	24	さざんか	給食サービス事業の調理ボランティア
2	音訳サークルやまびこ	6	さざんか	目の不自由な方へ、市の広報誌をテープへ 吹き込む
3	手話サークル“フレン ド”	14	さざんか	手話を覚える、ろうあ者との交流
4	かえでグループ	8	市内	高齢者健康サポート(サロン活動、高齢者の 話相手)
5	運転ボランティア「どこ でもカー」	14	市内	障がい者の外出支援
6	生きがいリーダー連絡 協議会	51	市内	介護予防を展開する中で、地域のよりよい健 康、生きがい、地域づくりの推進を図る
7	牧之原市まちづくり実 行隊	12	市内	おやじの会による親子ふれあい活動、勝間 田川流域の環境保全活動、障がい者福祉 活動サポートの実施
8	茶っこクラブ	13	市内	健康づくり活動、花の会活動、手芸活動
9	うぐいす	6	市内	老健施設でのハーモニカ演奏
10	静波一丁目消防奉仕隊	24	地内	一丁目内の消防施設消火栓点検など
11	すまいる	8	市内	レクリエーション他
12	一丁目龍友会	56	市内	龍眼山等の清掃活動
13	花の会	258	市内	市内の花壇への植栽、手入れ 花やみどりの講座の開催
14	ハートプラス・プロジェクト	5	市内	一般市民への救命手当・応急手当普及活動
15	おはなしクラブ	15	市内	市内小学校での読み聞かせ、朗読劇等の 企画上演、おはなし会等の開催、児童クラブ 催し物等への協力

16	牧之原せいそわの会	6	市内	福島原発事故によって県内へ避難移住している方への支援、福島県周辺から市内(県内)へ保養(放射線からの保養に限る)来る方への支援
17	愛唱会	9	市内 御前崎市他	施設訪問をし、主にカラオケ・寸劇等を行う

(3)活動者や地域との連携を強化するなど、ボランティアコーディネート体制の充実。

ボランティア連絡会の会議に参加するなどし、情報収集や事業連携などを行っている。

また、ボランティア活動を活発化させるため、社協にボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア連絡会を中心とした活動の活発化を図った。

①エコキャップ運動の推進

ペットボトルキャップのリサイクル活動に参加することによって、環境や貧困など、世界が直面する様々な課題について、学び、考え、行動する機会を提供する活動を行った。

また、昨年話題となったエコキャップの回収問題について、回収業者の変更を行った。

【回収総重量】 998kg (25団体・2個人)

【回収個数】 404,400個

【ワクチン】 505.5人分

(4)傾聴ボランティアの養成を検討。

NPO団体が実施する事業へは後援した。

介護保険法改正を見据えながら、市民ニーズに応える形で実施の検討を行いたい。

(5)地域で必要とされているボランティアの養成講座を実施。

地域福祉の担い手に、新しいレクリエーションを提供することを目的とした介護予防のためにレクリエーション講習会を実施した。

【2月8日】健康福祉センターさざんか 椅子に座って楽しむレクリエーション 13人

【2月29日】相良総合センターい〜ら 身体を動かした介護予防レクリエーション 18人

(6)ふれあい運動会を実施し、ボランティア活動への参加の機会を提供し、ボランティアの交流。

①ふれあい運動会の充実

毎年、地区を変え小学校を会場に年代、障がいの有無に関わりなく交流し、お互いに何かを感じ取ってもらおうと、ボランティア連絡会が主催し行った。

【6月20日】川崎小学校体育館 62人 3福祉施設

☆評価

ふれあい運動会を川崎小学校で行ったことで、当日の参加だけでなく、ふれあい広場への参加にもつながり、よい事業展開となった。今後もボラ連と一緒に運営していきたい。

エコキャップについては、かなり市民に浸透している。学校等教育の場だけでなく、個人や企業でも収集し、持参してくれる。

☆課題

ふれあい運動会と福祉施設交流会は参加者がほぼ同じで、内容も同じようなことを行っている。統一するなど検討が必要と思われる。

エコキャップなど収集の情報は広まったが、シールをはがすなどのルールが守られていないところもあるため、情報提供を徹底していきたい。また、新規のエコキャップ回収業者は、持ち込みをしなければならず、時間がかかることと、職員が2人で対応しなければならない。

施策3 地域資源の確保・活動推進

(1) 地区社会福祉協議会の運営支援、未設置地区への設立。

6地区社協の事業(楽らくクラブ等)への運営支援を行っている。また、未設置の相良地区については、法人内で設置に向け検討を続けている。

(2) 地区活動の支援として補助金を交付。

25区に活動費として約175万円、市民からいただいた会費の中から補助金を出している。

(3) ふれあい・いきいきサロン事業の推進、支援を行った。

① ふれあい・いきいきサロン事業の充実(42サロン)

各区でのふれあい・いきいきサロン事業の充実及び支援を図った。それによって、地域住民と高齢者等との交流が活発になった。

区分	相良区	福岡区	地頭方区	波津区第2ブロック	新庄区
名称	生き生きクラブ	生き生きクラブ	はつらっクラブ	ほのぼの会	憩いクラブ
開設年月	平成9年6月	平成9年6月	平成10年6月4日	平成11年7月4日	平成11年9月8日
開催日	毎月1回 第1月曜日	毎月1回 第3月曜日	毎月2回 第1・3木曜日	毎月1回 第1日曜日	毎月1回 概ね15日
開催時間	13:00～15:00	13:00～15:00	13:30～15:30	9:30～11:30	13:30～15:00
場所	相良区コミュニティ 防災センター	相良区コミュニティ 防災センター	地頭方区公民館	波津区公会堂、波津コ ミュニティーセンター	トーク地頭方
対象者	相良区・福岡区 及び近隣地区の 概ね70歳以上の 方	相良区・福岡区 及び近隣地区の 概ね70歳以上の 方	区内に移住する 概ね80歳以上の 方	75歳以上又は若 くて引きこもりの 方	区の65歳以上の 高齢者
延参加者	284人	266人	248人	349人	355人
延協力員	155人	156人	215人	52人	75人
代表	西尾 仁男	増田 秀雄	櫻井壽恵男	小澤 幸吉	清水 すすむ

区分	波津区第1ブロック	大沢区	白井区	須々木区	片浜区
名称	にこにこ会	もんじゅの会	いきいきサロン	お元気クラブ	ふれあいクラブ
開設年月	平成11年9月19日	平成11年10月8日	平成11年12月16日	平成12年4月7日	平成12年8月22日
開催日	毎月1回 第3金曜日	毎月1回 第3金曜日	毎月1回 第3木曜日	毎月1回	毎月1回 15日
開催時間	13:30～15:00	13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:00	9:00～11:30
場所	静和会館	大沢公民館	白井公民館	須々木区区民館	片浜防災セン ター
対象者	概ね70歳以上の 方	概ね65歳以上の 方	60歳以上の方	区の70歳以上の 方	区の高齢者
延参加者	170人	197人	307人	175人	214人
延協力員	58人	81人	62人	152人	78人
代表	松下 全代	牧野 祐子	中田 かおる	西川 宣男	森田 昇

区分	波津区第3ブロック	西萩間区	大江区	菅山区	牧之原区
名称	ほほえみ会	子生まれクラブ	大海老会	油会クラブ	茶の実クラブ
開設年月	平成12年8月30日	平成12年9月15日	平成13年3月	平成13年3月	平成14年2月26日
開催日	毎月1回 30日	毎月1回 第3水曜日	毎月1回 第1木曜日	毎月1回 20日前後	毎月1回 第3火曜日
開催時間	9:00～11:30	13:00～16:00	13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:30
場所	波津区公会堂	西萩間公民館	大江区民会館	菅山区公民館	牧之原区民センター
対象者	概ね65歳以上の 方	概ね75歳以上の 方	概ね70歳以上の 方	区の高齢者	65歳以上の方
延参加者	105人	188人	400人	300人	253人
延協力員	71人	45人	78人	148人	103人
代表	羽田 智行	藤野 幸雄	矢部 雅弘	増田 文男	樽林 初夫

区分	遠渡区	豊岡区	落居区	東萩間区(上)	東萩間区(下)
名称	サンサンクラブ	いきいきサロン豊岡	落ち合いサロン	笑和クラブ	いきいき東
開設年月	平成14年5月26日	平成14年5月29日	平成14年9月30日	平成14年10月11日	平成14年10月11日
開催日	毎月1回 10日	毎月1回 15日	毎月1回	毎月1回 第2水曜日	毎月1回 23日
開催時間	13:30～15:00	13:30～15:00	13:30～15:30	9:00～11:30	9:00～11:30
場所	遠渡公民館	豊岡公民館	落居公民館	東萩間上公民館	東萩間下公民館
対象者	区の高齢者	概ね65歳以上の 方	概ね65歳以上の 方	概ね70歳以上の 方	概ね75歳以上の 方
延参加者	245人	237人	426人	189人	288人
延協力員	93人	48人	84人	41人	36人
代表	松下 律子	小川 弘廣	植田 利夫	小笠原 博	黒田 美恵子

区分	中里区	神寄区(大寄)	神寄区(女神)	波津区第4ブロック	勝間田区
名称	にっこ里サロン	大の字クラブ	すこやかクラブ	ハッピークラブ	ほがらかサロン
開設年月	平成15年1月	平成15年1月	平成15年1月	平成15年7月1日	平成11年5月
開催日	毎月1回 第2金曜日	毎月1回 第4水曜日	①第2金曜日 ②第4日曜日	毎月1回 第1火曜日	毎月4回 毎週木曜日
開催時間	13:30～15:00	13:30～15:00	①13:30～15:30 ②10:00～11:30	10:00～12:00	9:00～11:00
場所	萩間公民館	大寄公民館	女神公民館	大原公民館	勝間田会館
対象者	概ね65歳以上の 方	概ね60歳以上の 方	概ね65歳以上の 方	65歳以上の方	65歳以上で健康 な方
延参加者	147人	278人	377人	180人	2,403人
延協力員	69人	60人	59人	38人	283人
代表	稲見 均	横山 夏日子	川田 良美	栗山 清	大関 小佳枝

区分	静波区	川崎区	坂部区	細江区	勝間田区
名称	すこやかサロン	仁田スマレ会	坂部ふれあいサロン	はつらつサロン東福	サロンマカミ
開設年月	平成13年5月	平成13年11月	平成14年4月	平成14年6月	平成14年9月
開催日	毎月2回 第1・3火曜日	毎月1～2回 第2日曜日	毎月3回 第1・2・3金曜日	毎月1回 第2火曜日	毎月10日・20日 第1土曜日
開催時間	9:30～11:30	9:00～13:00	9:00～11:30	9:30～11:30	9:00～12:00
場所	老人福祉センター	仁田公民館	坂部区民センター	東福田公会堂	間上老人憩いの家
対象者	65歳以上の方	65歳以上の高齢者	65歳以上の元気な方	町内会高齢者	80歳以上の方
延参加者	239人	180人	1,260人	153人	192人
延協力員	101人	76人	403人	71人	15人
代表	大石 美春	永田 政子	吉添 悦子	大井 照恵	鈴木 常夫

区分	川崎区	細江区	静波区	細江区	静波区
名称	橋向さくら会	時ヶ谷サロン	サロンのぞみ	東慶林ふれあいサロン	ふれあいサロン3丁目
開設年月	平成15年10月	平成19年12月	平成20年2月	平成20年7月	平成20年4月
開催日	毎月1回 第4水曜日	毎月1回 第3木曜日	毎月2回 第2・4水曜日	毎月1回 第1木曜日	毎月1回 第4水曜日
開催時間	13:00～15:30	9:30～11:30	13:30～15:30	10:00～11:30	10:00～12:00
場所	橋向公民館	時ヶ谷公民館	静波コミュニティ防災センター	東慶林コミュニティセンター	3丁目公会堂
対象者	65歳以上の一人暮らし世帯(障がい者)と70歳以上の高齢者	時ヶ谷町内70歳以上の居住者	65歳以上の方	町内会の65歳以上の方	町内会の65歳以上の方
延参加者	456人	235人	204人	391人	182人
延協力員	12人	50人	84人	44人	21人
代表	柴本 榮	原川 正志	増田 恵美子	八木 明美	八木 末子

区分	細江区	川崎区	牧之原区	静波区	静波区
名称	堀の内草の実サロン	サロンひまわり	まきのはらいいき教室	凜・百花春サロン	はつらつ会
開設年月	平成21年2月	平成23年8月	平成8年6月	平成26年4月	平成18年4月
開催日	毎月1回 第3火曜日	毎月1回 第3水曜日	毎月4回 第1～4火曜日	毎月1回 第2木曜日	毎月2回 第1, 3金曜日
開催時間	13:30～15:30	13:30～15:30	9:00～12:00	10:00～11:45	9:30～11:30
場所	堀之内研修センター	仁田公民館	牧之原区コミュニティセンター	11丁目公民館・中川自宅	さざんか1階ホール
対象者	町内会の高齢者	仁田在住の65歳以上の方	区内65歳以上の方	静波区の幼児からお年寄りまで他世代	区内65歳以上の方
延参加者	207人	197人	857人	165人	704人
延協力員	58人	24人	54人	43人	147人
代表	伊藤 睦子	羽生 正子	原田 松男	中川 松枝	水野 多津江

区 分	坂部区	地頭方区
名 称	坂2井戸端亭	ビタミンスクール
開設年月	平成26年9月	平成19年10月
開催日	毎月1回 10日	毎月4回 金曜日
開催時間	13:30～15:00	9:00～11:30
場 所	岩昌寺	トーク地頭方
対象者	町内会の高齢者	区内高齢者
延参加者	573人	1,649人
延協力員	142人	0人
代 表	大石鉄男	山下 公夫

サロン数 42サロン 延べ参加者数 16,425人 延べ協力員数 3,685人

②サロン事業連絡会の開催

牧之原市内のサロン事業の推進を目的にサロン事業連絡会を開催し、各地域のサロン代表者間の交流を行い意見交換を行った。

【4月17日】相良総合センターい〜ら 40人

【1月18日】相良総合センターい〜ら 40人

③サロン作品展の開催

2月16日～2月21日の期間、相良総合センターい〜らホールにて、サロン作品展を開催した。15団体が出展し、27年度の活動で取り組んだ作品の提示や紹介を行い、市民の方への啓発を行った。

(4)市民の誰もが参加できる、多様なサロン事業の検討。

サロンは高齢者の集まりではなく、誰もが参加できる形を目指し子どもから高齢者までいる複合型や、子育て中のお母さんを中心としたサロンなど、多様なサロンづくりの推進を行った。また、のびのび子育て井戸端会議に参加した親子が、サロンに出向き交流会を行った。地域の子どもから高齢者までが一緒にいることが当たり前のサロンになっていけたらと考えている。

①新規団体交流会の開催

市内にて、自主的にサロン活動を実施している団体を対象に交流会を開催した。

【4月13日】相良総合センターい〜ら 3団体

☆評価

サロン活動は2カ所が新規登録をした。登録はしていなくても、自主的に地域で活動されているグループも継続できており、定期的に支援していくことが必要であるとする。

☆課題

サロン活動については、協力員不足や高齢化が問題となっており、新規ボランティアの獲得を講座や口コミなどで行う必要性を感じる。

基本目標Ⅲ 助け合い・支え合いの仕組みづくり

施策1 市民参加型の小地域福祉活動の推進・支援

(1) 地区社会福祉協議会活動を支援し、未設置地区への設立。

再掲(Ⅱ-3-(1))(P15)

(2) 地区代表者連絡会を開催し、ネットワークづくりや情報交換等、地域活動の支援を行います。

①地区代表者連絡会の開催

地域のサロンへ参加し、区の代表者の方などに直接話をする事で、連絡会の代わりとした。

(Ⅲ-3-(4)-②)(P23)

(3) 三世代交流事業を継続、実施。

再掲(Ⅱ-2-(6)-①)(P14)

(4) 福祉施設交流会を継続、実施。

①福祉施設交流会の充実(7施設)

市内7施設の通所者を中心にパン食い競争や人形劇など、施設の枠を超え交流会を行いました。

【8月28日】相良総合センターい〜ら 203人

(5) 世代間の交流、障がい者(児)との交流。

再掲(Ⅱ-2-(6)-①)(P14)

(6) 市内すべての市民がふれあえる、ふれあい広場の開催を継続。

①さざんかふれあい広場の開催

牧之原市の保健と福祉の拠点を活かし、子どもや高齢者、障がい者等、住民の誰もが参加し、ふれあいを楽しむことができることを目的に開催した。

【10月4日】総合健康福祉センターさざんか 参加団体 36団体 来場者数 約2,500名

(7) 功労表彰、多額寄付による感謝状の贈呈などを社会福祉大会にて行った。

①社会福祉大会の開催【隔年】

牧之原市社会福祉協議会が合併し10周年を記念した大会を行った。また、みんなで描く福祉作品コンクールの表彰も合わせて行った。

【2月20日】相良総合センターい〜ら 参加者350人
表彰 被表彰者 62人(団体) 感謝状 1団体
記念講演「出会いの人生から学んだこと」 弁護士 菊地幸夫 氏

☆評価

施設交流会は、参加施設が昨年に比べ1施設減少したが、参加者同士和気あいあいと交流できている。

社会福祉大会は、本当に多くの参加者があり10周年を祝うことができた。ふれあい広場は、市制10周年にあたる年であったため、ビンゴ大会等イベント内容を大幅に変更をした。また、お菓子まきを閉会式前に行ったことで、閉会式まで多くの方がいた。

☆課題

施設交流会は各施設とも実施を希望しているため継続していきたいが、学生に参加してもらい、障がいについて理解を深めてもらいたい。また、今年度は9月実施を早め、8月実施にしたが、学生の参加がなかった。

社会福祉大会が2年に1回のため、表彰者が多くなってしまい、大会時間が長くなる。また、今回はみんなで描く福祉作品コンクールの表彰を、多くの人で行えたが、次年度はそれができない。大会を見直しするか、コンクールを見直しするのか、検討が必要となる。ふれあい広場では、今回行ったビンゴ大会・お菓子まきが好評だったため、次年度も取り入れるかイベント内容を検討する。

施策2 生活困窮世帯等への支援ネットワーク体制の強化

(1)生活困窮者自立支援事業を実施。生活困窮状態に陥っている方の自立へ向けた相談窓口として支援を行った。

①相談受付状況

相談件数		相談対応詳細	
相談受付件数	73件	電話連絡	286件
事業申込件数	25件	訪問、同行支援	162件
プラン策定数(再プラン含)	35件	面談	216件
終 結	9件	フードバンク利用回数	43回

※終結・・・家計の安定(7件) 転居(2件)

生活の基盤がなされた。収入増[就労(5件)・年金(2件)]による生活の安定。

②支援調整会議

相談者に対しての支援内容となるプランについて、行政及び関係機関と協議、決定する場として毎月第2、4火曜日に実施した。また、定期的の実施することにより、再プランや終結の判断等、進捗管理の役割も果たしたことに加え、終結後の関係機関による役割分担等の機能も担えている。

支援調整会議 24回実施

(2)生活困窮世帯に対し、住宅、生活、医療、生業、修学、災害などの理由で自立するために必要な資金を低利息または無利息で貸付する生活福祉資金貸付事業、福祉資金貸付事業の相談を行った。

①県生活福祉資金貸付事業

種類	貸付限度額	区分	現年度貸付額	過年度貸付額	償還額	繰越滞納額
福祉資金	580万円以内	金額	0	850,000	550,450	299,550
		件数	0	2	2	2
緊急小口資金	10万円以内	金額	0	950,000	329,330	620,670
		件数	0	11	7	11
教育支援資金	50万円以内	金額	0	19,054,800	10,226,830	8,827,970
		件数	0	12	7	12
不動産担保型生活資金	月30万円以内	金額	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0
総合支援資金	60万円以内	金額	0	9,839,423	1,285,783	8,553,640
		件数	0	24	7	24
臨時特例つなぎ資金	10万円以内	金額	0	170,000	35,000	135,000
		件数	0	2	2	2
合計		金額	0	30,864,223	12,427,393	18,436,830
		件数	0	51	25	51

※利率は資金の種類によって無利子から年3%、償還期間は2ヶ月から20年以内とする。

②市福祉資金貸付事業

種類	貸付限度額	区分	当年度分				過年度分				欠損額	残高
			貸付額	償還額	未償還額	滞納額	未納残額	償還額	未償還額	滞納額		
一般資金	10万円以内	金額	24,000	24,000	0	0	719,250	46,000	0	673,250	0	673,250
		件数	1	1	0	0	10	2	0	10	0	10
高額療養資金	100万円以内	金額	190,130	0	190,130	0	0	0	0	0	0	190,130
		件数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
介護保険資金	20万円以内	金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		金額	214,130	24,000	190,130	0	719,250	46,000	0	673,250	0	863,380
		件数	2	1	1	0	10	2	0	10	0	11

(3)地域において自立した生活が送れるよう、日常生活自立支援事業、成年後見人制度の相談、支援を行った。

①日常生活自立支援事業(権利擁護事業)

判断能力が十分でない方が、できるだけ住み慣れた地域で自立して生活できるように、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理を実施した。

【専門員の配置】6人(兼務)

【生活支援員の配置】7人

【相談及び契約件数】

区 分	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認知高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他		
相談件数	224	171	323	63	0	781
契約締結件数	2	0	0	0	0	2
実働件数	5	5	2	2	0	14

☆評価

生活困窮者自立支援事業を新たに受託し実施した。相談者世帯の自立に向け、世帯の課題の把握に努め、フードバンクやハローワーク等の関係機関と連携し、伴走支援を行った。更に、心配ごと相談や法律相談を積極的に活用し債務整理に努めたり、農家の協力を受け就労訓練を行う等、自立相談支援機関が単独では対応しきれないケースについて地域を含めた展開をすることができた。

また、社会福祉法人や民生委員からの食糧や中古家電の提供があったことを考えると、生活困窮者自立支援法についての啓発が徐々に進んできていると感じられる。

☆課題

貸付については長期間滞納者への償還指導を根気よく継続していく必要がある。

生活困窮者自立支援事業において、複合的な課題を抱えている世帯が多く、自立相談支援事業だけでは相談者の経済的・社会的自立を支援していくのに限界がある。今後、子どもの学習支援事業や家計相談支援事業、一時生活支援事業等の任意事業の必要性を訴えると共に、食糧の寄付や家電製品の提供に加えて法律家、社協の他事業所、社会福祉法人等と連携して、任意事業を補えるインフォーマルサービスを創出できるように更なる啓発をすすめ、相談者を多面から支援していく体制を整える必要がある。

施策3 地域包括ケアシステムの推進と福祉の連携と協働の強化

(1) 地域包括ケアシステムの検討。

地域福祉課や介護保険事業所などと連携を密にとり、今後の事業展開についても包括的に進めるよう、所属長会議などを行った。

(2) 住民組織と連携し、地域での見守りネットワークを実施。

市が行っている「見守り隊」に参加協力し、地域での見守りを行っている。また、今後行う住民アンケートにより必要な対策を行いたいと考えている。

(3) 多問題ケースへの対応について関係機関と連携を図った。

生活困窮と介護など、多問題ケースについては包括や居宅など、関係機関とのケア会議を開催している。

(4) 生活支援サービス事業を実施。

介護保険制度の改正における生活支援サービスの充実・強化に向け、高齢者の社会参加の場や、ボランティア、NPO等による多様な生活支援サービスが利用できる地域づくりを目指し、ボランティア等生活支援の担い手の養成や地域資源の開発を行った。

①事業を実施するにあたり、現状の確認と今後の方針について共有することを目的に、行政との打ち合わせ会を行った。

・地域支え合い推進員活動事業打合せ 29回

②地域現状調査として、シニアクラブ、高齢者サロン、生活支援サービス実施団体、ひとり暮らし高齢者へのアンケートを作成し、聞き取り調査を行った。

・ひとり暮らし高齢者

【9月16日】相良ふれあい食事会 21人 相良総合センターい〜ら
 【9月25日】榛原ふれあい食事会 71人 総合健康福祉センターさざんか

・シニアクラブ(単位クラブ会長)

【9月14日】相良支部老人クラブ連合会 21人 相良老人会館
 【9月17日】細江地区老人クラブ連合会 6人 細江コミュニティセンター
 【9月11日】単位クラブ会計 22名へ郵送

・生活支援サービス実施団体

【9月3日】すけっと・まきのほら
 【9月3日】シルバー人材センター榛原
 【9月4日】シルバー人材センター相良

・ふれあい・いきいきサロン

【10月15日～10月30日】42団体

・ふれあい・いきいきサロン協力員

【10月15日～10月30日】296人

・ふれあい・いきいきサロン参加者聞き取り

No	地区	名称	実施日	場所	対象者
1	相良	生き生きクラブ	11月30日	相良区コミュニティ防災センター	7
2	福岡	生き生きクラブ	11月30日	相良区コミュニティ防災センター	7
3	地頭方	はつらつクラブ	11月5日	地頭方区公民館	9
4	波津第2	ほのぼの会	12月15日	波津公会堂	10
5	新庄	憩いクラブ	11月15日	トーク地頭方	10
6	波津第1	にこにこ会	12月18日	静和会館	11
7	大沢	もんじゅの会	12月18日	大沢公民館	12
8	白井	いきいきサロン	11月19日	白井公民館	15
9	須々木	お元気クラブ	10月21日	須々木区区民館	15
10	片浜	ふれあいクラブ	11月15日	片浜防災センター	11
11	波津第3	ほほえみ会	12月23日	波津区公会堂	8
12	西萩間	子生まれクラブ	12月16日	西萩間公民館	12
13	大江	大海老会	11月5日	大江区民会館	10
14	菅山	油会クラブ	12月21日	菅山公民館	11
15	牧之原	茶の実クラブ	11月17日	牧之原区民センター	18
16	遠渡	サンサンクラブ	11月8日	遠渡公民館	10
17	豊岡	いきいきサロン豊岡	11月15日	豊岡公民館	18
18	落居	落ち合いサロン	1月16日	落居公民館	9
19	東萩間(上)	笑和クラブ	12月16日	東萩間上公民館	13
20	東萩間(下)	いきいき東	10月23日	東萩間下公民館	20
21	中里	にっこりサロン	11月13日	萩間公民館	15
22	神寄(大寄)	大の字クラブ	10月22日	大寄公民館	14
23	神寄(女神)	すこやかクラブ	11月23日	女神公民館	13
24	波津第4	ハッピークラブ	12月1日	大原公民館	11
25	勝間田	ほがらかサロン	11月5日	勝間田会館	13
26	静波	すこやかサロン	11月17日	老人福祉センター	9
27	川崎	仁田すみれ会	12月13日	仁田公民館	10
28	坂部	坂部ふれあいサロン	12月4日	坂部区民センター	10
29	細江	はつらつサロン東福	11月9日	東福田公会堂	12
30	勝間田	サロンマカミ	12月1日	間上老人憩の家柿の実公園	10
31	川崎	橋向さくら会	12月16日	橋向公民館	10
32	細江	時ヶ谷サロン	11月19日	時ヶ谷公民館	7

33	静波	サロンのぞみ	10月29日	静波コミュニティ防災センター	12
34	細江	東慶林ふれあいサロン	12月3日	東慶林コミュニティセンター	19
35	静波	ふれあいサロン3丁目	11月25日	3丁目公会堂	11
36	細江	堀の内草の実サロン	12月15日	堀之内研修センター	17
37	川崎	サロンひまわり	11月12日	仁田公民館	7
38	牧之原	まきのはらいきいき教室	10月27日	牧之原コミュニティセンター	16
39	静波	凜・百花春	12月25日	11丁目公民館・中川宅	10
40	静波	はつらつ会	11月6日	さざんか1階ホール	11
41	坂部	坂2 井戸端亭	12月10日	岩昌寺	10
42	地頭方	ビタミンスクール	10月30日	トーク地頭方	10
		合計		合計	493

③給食サービス事業を支えてくれている、調理ボランティアの新規獲得や地域での食を通じた出掛ける場を提供するボランティアの育成を目的とした、給食ボランティア養成講座を実施した。

・給食ボランティア養成講座

- 【2月4日】「献立を立ててみよう！」 相良保健センター 18名
- 【2月18日】「食事を作ってみよう！」 相良保健センター 14名
- 【3月9日】「作って食べてもらおう！」 相良保健センター 60名
- 【3月24日】「今後の活動について」 相良保健センター 17名

④サロン協力員の負担軽減と意欲向上を目的に、介護予防の視点を取り入れたサロン協力員のステップアップ研修を実施し、理学療法士を講師に招き普段サロンで実施している活動に対し、アドバイスをもらう機会を提供した。

・サロン協力員ステップアップ研修

- 【3月14日】相良総合センターい〜ら 38名
- 【3月28日】総合健康福祉センターさざんか 26名

⑤今後の牧之原市の生活支援体制を検討していくにあたり、有償の住民参加型福祉サービス“オンリーユー”を実施している小山町社会福祉協議会をボランティア連絡会会員と共に訪問し、活動をしていくうえでの不安や疑問点を解消する機会とすることができた。

・生活支援体制先進地視察

- 【3月12日】小山町社会福祉協議会 職員4名、ボラ連会員22名

⑥今後の訪問ボランティアによる生活支援体制の整備と充実を図るために、市民への“ちょっとした日常生活のたすけあい”の必要性についての啓発と、意識調査を目的にアンケートを実施した。

・地域支え合い活動の啓発

- 【平成28年1月実施】牧之原市地域たすけあいアンケート 16,000世帯に郵送
- 【3月15日発行ふくしだよりに同封】らいふサポーター養成講座チラシ 全戸配布

☆評価

地域支援事業については、社協だけが検討するものではなく、市や関係機関と連携していくことが重要と考えている。そのため、行政との会議の中で話を出し、お互いに共通認識がずれないようにしてきた。

市内の生活支援サービスの実施団体や高齢者自身から、現在の生活についての聞き取り調査を行い、地域資源の把握をすることができた。

ボランティアの発掘、育成の面では、サロン協力員の負担軽減と介護予防の視点を取り入れることを目的にステップアップ研修、給食ボランティアの新規獲得と食を通じた居場所づくりの必要性を伝えることを目的に給食ボランティア養成講座を実施した。

また、今後の生活支援の体制整備に向け、先進地視察をはじめ、サポーター養成講座のカリキュラムの作成、地域たすけあいアンケートやらいふサポーター養成講座のチラシ配布による啓発等、次年度からの活動に備えることができた。

☆課題

行政は10年かけて地域包括ケアシステムの構築行うとの回答だった。また、見守りネットワークや多問題ケースについても、どれだけ行政と連携を密に取るかが課題となった。

関係機関や当事者等に対して進めてきた聞き取り調査の現状をとりまとめていくにあたり、今後の牧之原市における生活支援サービスについて関係機関が同じイメージを持つことを意識すると共に、目指す体制に向け必要な情報を得ることが出来ているかの検証を行い、今後の社会資源の開発に繋げることが必要となる。

施策4 社会福祉協議会への活動支援・組織強化

(1) 事業内容について広報活動し、市民の参加、理解を呼びかけた。

① 広報活動

再掲 (I-4-(2)-①②③④⑤) (P6~7)

② 社協会費(単位:口)

普通会費(1口300円)	特別会費 (普通団体・個人1口1,000円) (特別団体 1口5,000円)	賛助会費(1口5,000円)
11,414口	1,000円 177口 5,000円 4口	188口
3,424,450円	197,000円	940,000円

合計 4,561,450円

③ 共同募金事業

赤い羽根共同募金は、民間の運動として終戦直後の1947年(昭和22年)に、市民が主体の取り組みとしてスタートした活動です。みんなで集めた募金は、自分のまちを良くする活動に使われています。市民自らの行動を応援する募金活動です。

一般募金(募金期間:10月1日~12月31日)

種別	金額	備考
戸別募金	3,857,800	11,635世帯
法人募金	1,558,500	467法人
街頭募金	19,517	ふれあい広場
学校募金	88,159	8小学校・3中学校
職域募金	41,092	市役所・静岡銀行・社協
自販機募金	38,066	老人福祉センター・さざんか等
その他募金	3,544	更生保護女性会・榛原、榛原静波、相良郵便局
合計	5,606,678	

歳末たすけあい募金(募金期間:12月1日~12月31日)

種別	金額	備考
戸別募金	796,000	11,635世帯
その他募金	203,253	区コミュニティーセンター・明社協・サロン参加者等
合計	999,253	

④共同募金事業

共同募金の一環として実施するものである。新たな年を迎える時期に支援を必要とする人達が安心して暮らせるよう民生委員の協力を得て展開する事業

※歳末慰問事業対象者50名、実施期間平成27年12月1日～12月31日

平成27年10月1日現在牧之原市在住

[1] 障害児・者のいる世帯(身障手帳1.2級・療育手帳A級・精神障害者保健福祉手帳いずれかに該当)

[2] 高齢者世帯で著しく生活にお困りの世帯

※ひとり暮らし高齢者のおせちセット配付事業

対象者455名、実施日12月28日

給食サービス対象者及び利用していないが、歳末のみ差し上げたい70歳以上(平成27年

10月1日現在)のひとり暮らしの高齢者でお正月をひとりで過ごす方(高齢世帯は除く)

☆評価

学生や民生委員児童委員など、多くの協力により多額の募金が集まった。特に給食サービスやふれあい広場など、見守りが必要な方への支援が多くできたと思う。また、おせち配布や慰問金の配布がでは、対象者の方から感謝の声を多数聞くことができた。特におせち配布は、20年以上続けている中、初めてテレビ放映もされた。

☆課題

年々募金額が減少しているため、事業の見直しを行っていく必要がある。また、広報啓発活動等を行い、新規協力事業者を募っていきたい。

(2) 事務所間、職員間の情報共有に努め、組織の充実を図ります。

①理事会・評議員会・監査会・経営改善委員会の開催

会議名	開催日	場 所	出席者	主 な 議 事
第1回経営改善委員会	27.4.30	相良総合センター い〜ら	4/5	前年度経緯 職員給与細則の一部改正 処遇改善手当
決算監査	27.5.19	相良総合センター い〜ら	2/2	平成26年度決算監査 1.事業報告 2.会計経理・資産管理 3.法人組織・運営

第1回理事会	27.5.26	相良総合センター い〜ら	9/10	1.評議員の同意 2.副会長の選任 3.会長の職務代理者 4.平成26年度事業報告の認定 5.平成26年度一般会計収支決算認定 6.補正予算(第1号) 7.パートタイマー等の給与規程の一部改正 8.職員給与規程の一部改正 9.給与細則の一部改正
第1回評議員会	27.5.26	相良総合センター い〜ら	14/21	1.理事の選任 2.平成26年度事業報告の認定 3.平成26年度一般会計収支決算認定 4.補正予算(第1号) 5.パートタイマー等の給与規程の一部改正 6.職員給与規程の一部改正 7.給与細則の一部改正
指導監査	27.7.30	相良総合センター い〜ら	2/2	法人組織 運営 会計経理 資産管理
第2回理事会	27.8.5	相良総合センター い〜ら	10/10	10.職員給与規程の一部改正 11.パートタイマー等の給与規程の一部改正 12.慶弔規程の一部改正 13.慶弔費支給細則の廃止
第2回評議員会	27.8.5	相良総合センター い〜ら	16/21	8.理事の選任 9.職員給与規程の一部改正 10.パートタイマー等の給与規程の一部改正 11.慶弔規定の一部改正 12.慶弔費支給細則の廃止
四半期分伝票確認監査	27.8.11	相良総合センター い〜ら	2/2	平成27年度四半期分伝票確認監査
臨時理事会	27.8.28	総合健康福祉 センターさざんか	9/10	うたり及び移転候補先の視察うたり等の施設状況の説明及び協議 慶弔規程(案)の説明及び協議 次期理事(学識経験を有する者)の補充に関する報告等
臨時理事会	27.9.28	相良総合センター い〜ら	9/10	デイサービスセンターうたり移転に伴う運営状況等の説明及び協議 次期役員(理事・監事)及び評議員の選任に関する報告
財政援助団体監査	27.9.29	相良総合センター い〜ら	2/2	平成26年度の財政援助に係る出納その他の事務の執行状況の確認

第3回理事会	27.10.6	相良総合センター い〜ら	9/10	14.慶弔規程の一部改正 15.慶弔費支給細則の廃止 16.評議員の選任 17.うたり指定管理終了後の事業方針
第3回評議員会	27.10.15	相良総合センター い〜ら	15/21	13.慶弔規程の一部改正 14.慶弔費支給細則の廃止 15.役員(理事・監事)の選任 16.うたり指定管理終了後の事業方針
第4回理事会	27.10.19	相良総合センター い〜ら	10/10	18.会長及び副会長の選任 19.会長の職務代理者 20.経営改善委員会
前期監査	27.11.16	相良総合センター い〜ら	2/2	業務監査 会計監査
第2回経営改善委員会	27.12.3	相良総合センター い〜ら	5/5	経営改善委員会規定の内容検証 うたりの事業継続関係 マイナンバー制度について 次期理事会の提出案件
第5回理事会	27.12.24	相良総合センター い〜ら	10/10	21.経営改善委員会規程の制定について 22.一般会計補正予算(第2号)について
第4回評議員会	27.12.24	相良総合センター い〜ら	16/21	17.経営改善委員会規程の制定について 18.一般会計補正予算(第2号)について
臨時理事会	28.1.18	相良総合センター い〜ら	10/10	事業方針決定に伴う事前説明 改修に決定した場合の協議事項 新築に決定した場合の協議事項
第3回経営改善委員会	28.1.26	相良総合センター い〜ら	5/5	うたりの事業継続関係 指名型ポータル方式実施要綱 (案)の内容検証 マイナンバー取扱規定(案)の内容 検証 契約事務取扱細則(案)の内容検証 就業規程改正(案)
第3四半期監査	28.2.4	相良総合センター い〜ら	2/2	随時監査
臨時理事会	28.2.20	相良総合センター い〜ら	9/10	うたり移転先(土地)の状況説明及び協議
第4回経営改善委員会	28.2.24	相良総合センター い〜ら	5/5	うたり移転関係 理事会・評議員会の議案 経営改善委員会委員の状況確認

第6回理事会	28.3.28	相良総合センター い〜ら	10/10	23.財産(建物及び土地)の取得 24.特定個人情報取扱規程の制定 25.職員給与規程の一部改正 26.職員給与細則の一部改正 27.就業規程の一部改正 28.一般会計補正予算 29.事業計画 30.一般会計予算(案)について
第5回評議員会	28.3.28	相良総合センター い〜ら	16/21	19.財産(建物及び土地)の取得 20.特定個人情報取扱規程の制定 21.職員給与規程の一部改正 22.職員給与細則の一部改正 23.就業規程の一部改正 24.一般会計補正予算 25.事業計画 26.一般会計予算(案)について

(3)人材の掘り起こし並びに人材の確保を行うとともに、新規スタッフに対して講習を実施し、スキルの向上に努めます。

①求人活動

ハローワークやロコミ、広報紙などによる求人を行った。

②雇用促進への取り組み

障がい者の方が就労しやすい環境づくりに勤め、就労しやすくした。

③スキルアップについて

今年度は新規採用職員がいなかったため、県社協の新人研修へは参加しなかったが、各部署ごと、必要な県内外の研修に参加した。

☆評価

デイサービスセンターうたり移転の件があり、移転場所の視察及び検討等を行ったため、臨時理事会を開催した。また、外部研修には各部署とも参加できている。

求人は、介護職に応募する方がいないのが現状である。

☆課題

介護職の募集をしているが、応募がないため、訪問介護員の不足を解消できない。

社協会費は年々減少している。会費の増額を行えば市民への負担となってしまうため、会費以外の収入増や、支出を再検討する必要がある。

その他:福祉団体等の支援

(1)社会福祉協議会は下記福祉団体等の事務及び補助を行っております。

①牧之原市老人クラブ連合会(シニアクラブ牧之原)

- ・シニアクラブ牧之原相良支部
- ・シニアクラブ牧之原榛原支部

②牧之原市身体障害者福祉会

③牧之原市手をつなぐ育成会

- ・青年学級
- ・ひまわり会

- ④牧之原市遺族会
 - ・遺族会相良支部
 - ・遺族会榛原支部

- ⑤牧之原市ボランティア連絡会

(2) 社会福祉協議会は下記福祉団体等へ補助を行っております。

- ①牧之原市子ども会連絡協議会
- ②NPO法人精神保健福祉みどり会
- ③榛原地区相良更生保護女性会
- ④榛原地区榛原更生保護女性会
- ⑤榛南断酒会
- ⑥榛原地区保護司会相良支部
- ⑦榛原地区保護司会榛原支部
- ⑧法務省榛原保護区榛原地区保護司会
- ⑨明るい社会づくり運動静岡県牧之原市地区協議会(相良地区)
- ⑩明るい社会づくり運動静岡県牧之原市地区協議会(榛原地区)